

脊髄外科

Spine Surgery

脊髄外科の本拠地は総合南東北病院（郡山市）脳神経外科にあります。平成21年7月から金曜日午前中に南東北福島病院で脊髄外科外来を開始することになりました。総合南東北病院は平成20年6月11日付けで国内25番目の日本脊髄外科学会訓練施設として認定され、脊髄外科指導医のもと年間200件以上の脊椎・脊髄外科手術を行っています。南東北福島病院でも総合南東北病院の脊髄外科専任スタッフが外来診療および手術を実施致します。

脊髄外科で扱う疾患は、頸椎症、頸椎椎間板ヘルニア、腰椎症、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、腰椎変性・分離すべり症、後縦靭帯骨化症に代表される脊椎変性疾患はもとより、脊髄腫瘍、脊髄血管障害、そして脊髄空洞症、キアリ奇形、腰仙部脂肪腫などの小児先天奇形、手根管症候群、肘部管症候群などの末梢神経疾患など多岐に亘ります。保存的治療に重点をおいていますが、無効な場合には顕微鏡下での低侵襲手術を行い、早期離床および早期退院をめざしています。

脊髄外科で行っている脊髄・脊椎外科手術：

頸椎前方除圧固定術、頸椎椎弓形成術、腰椎部分椎弓切除術、腰椎椎間板ヘルニア摘出術、腰椎後方固定術、脊髄硬膜内髄内腫瘍摘出術、脊髄硬膜内髄外腫瘍摘出術、脊椎腫瘍摘出術、大後頭孔減圧術、手根管開放術、肘部管開放術など



(左) 腰椎変性すべり症に対する腰椎後方固定術（PLIF および経皮的椎弓根スクリュー留置）

(右) 頸髄髄内腫瘍（上衣腫）